

## 国際婦人デー東京集会に寄せられた海外からのメッセージ

### フィリピン共和国からのメッセージ

#### 帝国主義に反対し平和と社会主義を求める

アントニオ - E - パリス (フィリピン共産党 [PKP - 1930] 書記長)

同志の皆さん

フィリピン共産党 (PKP - 1930) は、東京と大阪で2019年国際婦人デー集会を共催される活動家集団思想運動と本郷文化フォーラムワーカーズスクール (HOWS) の皆様に厚い連帯のごあいさつを送ります。また思想運動とHOWSが毎年集会を開催し、国際婦人デーを記念されていることに対し心より敬意を表します。

米帝国主義がシリア、イラク、リビア、イエメンなどアジア、アフリカ諸国に対して軍事侵略を続けている状況を鑑みれば、全人類にとって今日平和を守ることがどれほど重要な課題であるかがわかります。米国はまた、ベネズエラさらにはニカラグアに対して軍事介入の脅しをつづけ、社会主義キューバへの追加制裁を今にも行使しようとしています。わたしたちの地域でとくに憂慮されるのが、イスラム原理主義 (中でも「イスラミック・ステイト (IS)」あるいは「ダーシュ」と呼ばれる帝国主義の陰の特殊部隊) の広がりです。こういったテロリストによる活動は、フィリピン国内や東南アジア地域内において軋轢を醸成しています。同地域で分離や領土分割が生起すれば、それは帝国主義と多国籍企業を利するものにほかなりません。カシミールにおける宗教原理主義者のテロ活動によって、インド-パキスタン戦争が勃発の寸前までいったことは記憶に新しいでしょう。

宗教原理主義はいかなる宗派であっても女性をつねに抑圧し、女性の権利と自由を制限するとともに、女性を男性より劣位に置きます。(さらには、女性を男性が所有する家財道具にまで貶めます。) 主な宗教は、男性が独占する神々を使って多種多様で荒唐無稽な物語をつくりだし、女性の社会進出を制限してきました。シャリア (イスラム法) は中でもとくに抑圧的で、結婚、財産権、遺産相続に加え議会証言の信頼度にまで男性優位を組み込んでいます。イスラム原理主義国家の中には、自動車の運転や着衣にまで女性に制限を加えるところがあります。

総じてキリスト教も女性の宗教活動を制限し、女性を男性宗教指導者のお飾り役に仕立てあげます。尼僧や修道女が、司祭、司教、枢機卿や教皇と比べて劣位に置かれているところにそれが現れています。また、性的虐待を受けた多くの女性や、尼僧までもが泣き寝入りを強いられています。男性が独占するバチカン秘密会議 (コンクラーベ) で聖職者が性的虐待について議論するようになったのはごく最近のことです。ドゥテルテ大統領も、かれの生まれ故郷ダバオ市でイエズス会運営のアテネオ校に通っていたとき、米国人司祭から性的虐待を受けたことを公表しています。もっとも、そのドゥテルテ自身が二人の妻がいながら他の女性と不倫関係にあることを自慢したり、レイプを矮小化したり、さらには十代の頃メイドに対し性的虐待をしたとしゃべるなど女性を見下していることは許せません。

神道もまた男性優位の女性差別主義宗教であり、平和時には財閥や総合商社に奉仕する「企業戦士」として搾取を肯定する思想を醸成します。また戦争中には、軍幹部らが野蛮な方法で女性を誘拐拉致し性奴隷 (「慰安婦」) にするのを正当化するため役立ったのです。「天皇崇拝」が神道の核心であり、まもなく譲位の儀式が安倍晋三政権によって国家行事として執りおこなわれます。即位が意味するのは、公的資金でまかなわれる寄生的非課税所帯に新しい家長が誕生するということです。またその金ぴかの男性の先祖は、東南アジアと太平洋地域で何千万もの住民に殺戮と破壊をもたらした戦犯の裕仁です。即位式では、新天皇が四日間にわたり選抜された処女 (おそらく天皇のためだけの「慰安婦」) と夜を共にすることで「神性」を身にまとう「大嘗祭」も執りおこなわれるでしょう。

さまざまな方法を用いての、人間による人間に対する非人間的行為、憎悪と戦争、そして女性蔑視、これらの根幹には宗教があるのです。今こそ女性の権利の実現を含む平和と人間的な関係の構築に向かって人類が前進できる条件を切り拓くため、科学の力を使って多数の人びとの上に覆いかぶさっているこの陰鬱な反啓蒙主義のきょうかたびらを取り去るときです。

同志の皆さん

フィリピンなどの新植民地国において、女性の権利は帝国主義国や先進資本主義国に比べずっと劣悪です。帝国主義者が構築している体制は、輸入自由化の促進を梃子として新植民地国で工業化と消費経済が発展するのを阻止します。海外の多国籍企業と地方財閥は経済・政治システムを掌握しており、高利潤を得るため公共サービスを民営化し、規制を撤廃します。その結果わが国民の場合、アジア中でもっとも高い一〜二%もの消費 (「付加価値」) 税を支払っているだけではなく、電気・通信費で

ももっとも高い税金が課されています。

失業率・半失業率がともに高く、労働人口五人のうち一人が失業または半失業状態であり、とくに被差別の状況を強いられる子育て中の女性に大きな影響が出ています。非正規労働は不安定で、とくに農業部門で著しく、多数の労働者が零細事業に従事するとともに家族経営による無給就労を強いられています。仕事を得るには、海外への出稼ぎに頼らざるをえないのです。大学を卒業したとしても、メイドやベビーシッターしか仕事が見つからないこともあります。また出稼ぎは、家族が崩壊したり、母親不在が麻薬中毒の誘因となるなど社会生活面で深刻な問題を引き起こしてもいます。

わが国ではこれまで女性大統領が二人誕生しましたが、国の発展に何ら資することはなく、女性の地位向上も実現しませんでした。わが国初の女性大統領（コリー・アキノ）は旧世代（戒厳令以前）の支配層の守護神で、中でもマルコス政権時代の国有財産を民営化することで新植民地主義秩序の構築に貢献しました。

二人め（グロリア・アロヨ）は別種の「盗賊政治家」を代表する人物で、中国の鉄道事業者や電気通信事業者と結託して国庫金の配分に奔走しました。二人とも、わが国の労働者が出稼ぎをせずに生産活動に従事できるよう国内での雇用を創出するどころか、労働力の輸出に精進しました。

フィリピン国民は女性が国会や地方議会で約一五%の議席を確保していることを自慢していますが、この連中は総じて数世代にわたって政府資金を巻き上げてきた裕福な新帝国主義支配層の子孫です。事実、五月の投票に向け今般進行中の選挙運動は概して、腐敗した「交付金」の分配をめぐる政治支配層どうしのプロパガンダ合戦に過ぎません。

資本主義諸国のメディアは一般的に、自国女性の自尊感情が、概ね男性受けのする退嬰的広告に出てくる女性イメージで形成されるよう願っています。資本家は、女性が自覚する価値と自信—教育、雇用、社会活動への参画能力が本来基礎となるべき—が、逃避的な虚飾ショーが繰り広げられる資本主義ビジネスの中のものつまらない場所で得られるようにしておきたいのです。

同志の皆さん

この惨状からいかに抜け出すべきでしょうか？ 前進するための唯一の方法は、搾取を基礎とし、失業と反失業を増殖させる資本主義システムを一掃することです。フィリピン国民を解放する唯一の方法は、帝国主義と地方財閥の支配を打破し、人民民主主義と社会主義を確立する闘争です。

ロシアにおける一九一七年の十月社会主義大革命は、人民解放と男女平等への道をつねに指し示しています。労働者による国家資源のコントロールは、雇用創出を確かなものにするとともに生産による福利を人民へと還元します。

（また、支配層の略取が不可能となるのです。）労働者による生産のコントロールは、教育、健康、住居など国民のベーシック・ニーズを確実に保障します。教育への平等で自由なアクセスは、女性が自ら選択した進路において職業を得ることを約束します。

ソ連が悲劇的に崩壊する前まで、社会主義ブロックにおいては、資本主義社会に束縛されない真の女性の自由がありました。女性には、一年間の産後休暇、妊娠調整、病弱児看病のための有給休暇、無償保育、ひとり親家庭のための短時間勤務などの支援制度が保障されていました。国家が保障する労働と学校給食は、物品の購入や調理に費やす時間を大幅に削減しました。労働者階級や農業従事者の子どもたちは、誰でも高等教育を受けることができました。新卒者には職業訓練が保障され、訓練終了後は必ず就職することができました。教育と雇用によって、女性も男性がすでに身につけていた高度な自信をもつことができたのです。

PKP - 1930は、新植民地主義的資本主義システムの病巣と、人民民主主義と社会主義に向かう闘争の必要性についてフィリピンの人民と労働者に啓発するため最大限の努力を払ってきました。国際婦人デーの開催は、社会主義のもとでこそ真に女性の平等が実現されるということを再確認する機会となるべきです。革命的キューバは、米国による制裁が続いている中であってもこれこそが真実であることを示しつつあります。

あらためて、東京と大阪における皆さんの国際婦人デー集会のご成功を心からお祈りいたします。帝国主義に反対し、平和と社会主義を求める国際連帯万歳！

コミュニストとしての敬意をこめて

アントニオ・E・パリス（フィリピン共産党〔PKP - 1930〕書記長）

【翻訳＝木田誠也】

『思想運動』1039号 2019年4月1日号